



学校だより



令和7年度 全国学力・学習状況調査(4月実施)の結果から

4月に実施された『令和7年度全国学力・学習状況調査結果』の有馬中学校の調査結果について、お伝えします。

1. 「教科に関する調査」結果について

(1) 平均正答率(理科は平均 IRT スコア※)

	国 語	数 学	理 科
有馬中学校	54%	51%	525
三重県	53%	47%	498
全国	54.3%	48.3%	503
全国との差	▼0.3 ポイント	△2.7 ポイント	△22 ポイント



※IRT スコアとは

今回の理科調査は、タブレット端末で解答するテスト(CBT方式)でした。

CBT方式では、一人ひとりの画面上に調査問題や解答が映し出されるので、近くの席の子にそれらが見えてしまっても問題がないように、一人ひとりの調査問題が違う形で出題されました。そのため、平均正答率ではなく、問題の難易度等に応じた結果が見られるIRTスコアで結果が届きました。IRTスコアは、平均点が500点となるように設定されており、実力がどの位置にあるかを把握しやすくなっています。

(2) 各教科の特徴(良かった内容: △ 課題のある内容: ▼)

国 語

- △「文章の構成や展開について、根拠を明確にして考えることができるかどうかをみる」記述式問題の正答率は、全国平均を上回っています。
- △「目的に応じて、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にすることができるかどうかをみる」選択式問題の正答率は、全国平均を上回っています。
- ▼「資料や機器を用いて、自分の考えが分かりやすく伝わるように表現を工夫することができるかどうかをみる」選択式問題の正答率は、全国平均を下回っています。
- ▼「内容のまとまりを意識して文章の構成や展開を考えることができるかどうかをみる」選択式問題の正答率は、全国平均を下回っています。
- 全体として全国平均を若干下回っていますが、小学校の調査結果からは、大きく伸びています。中でも文章を書く記述式問題は、どの問題も全国平均を上回っており、全体として文章を書く力がついてきていることが伺えます。



数 学

- △「A駅から60.0km地点につくられる新しい駅の運賃がおよそ何円になるかを求める方法を説明する」記述式問題の正答率は、全国平均を上回っています。
- △「四角形が平行四辺形であることの証明を振り返り、新たに分かる辺や角についての関係を選ぶ」選択式問題の正答率は、全国平均を上回っています。
- ▼「1から9までの数の中から素数を全て選ぶ」選択式問題の正答率は、全国平均を下回っています。
- 全体として全国平均を上回っています。中でも数学的に説明をする記述式問題は、どの問題も全国平均を上回っており、全体として説明する力がついてきていることが伺えます。



理 科

- △「大地の変化に関する言い伝えを1つ選択し、その選択した言い伝えが科学的に正しいと判断するための理由を「地層を調べたときに何が分かればよいか」に着目して記述する」記述式問題の正答率は、全国平均を上回っています。
- △「生物の動画を見て、呼吸を行う生物をすべて選択する」選択式問題の正答率は、全国平均を上回っています。
- ▼「塩素の元素記号を記述する」短答式問題の正答率は、全国平均を下回っています。
- 全体として全国平均を上回っています。科学的に探究する力や探究から生じた新たな疑問や身近な生活との関連などに着目する力がついてきていることが伺えます。

2. 「生徒質問紙調査」結果について（肯定的な回答の全国平均との比較）

- △「人が困っているときは、進んで助けていますか」
＜有馬中：100% 全国：90.9%＞
- △「分からないことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することはできていますか」
＜有馬中：92.9% 全国：77.5%＞
- △「1、2年生のときに受けた授業では、各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っていましたか」
＜有馬中：83.3% 全国：70.6%＞
- △「国語の授業の内容はよく分かりますか」
＜有馬中：90.5% 全国：77.0%＞
- △「数学の授業の内容はよく分かりますか」
＜有馬中：85.7% 全国：70.3%＞
- △「自然の中や日常生活、理科の授業において、理科に関する疑問を持ったり問題を見いだしたりしていますか」
＜有馬中：66.7% 全国：56.2%＞
- ▼「学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（1時間以上）」
＜有馬中：54.3% 全国：61.6%＞
- ▼「あなたはタブレットなどのICT機器を使ってプレゼンテーション（発表のスライド）を作成することができますか」
＜有馬中：61.9% 全国：76.6%＞

3. 今後の取り組みについて

（1）授業力の向上

「学ぶ喜びを実感できる授業を目指して」を研究テーマとして、授業研究を行っています。その中で、課題となっていることの改善につながる取組を、各教科を通して今後も継続していきます。

授業研究では、生徒の姿をもとに、授業の改善を重ねています。



（2）読書活動

「朝の読書」活動を通して、読書習慣を確立し、感性を磨き、表現力を高め、豊かな創造力の育成に努めます。



（3）キャリア教育の充実

計画的にキャリア教育を実施し、生徒が将来に向けて夢や希望が持てるよう取組を行います。将来の自分をイメージし、今何をすべきか考え中学校生活を充実させる取組を継続して行います。

自学ノートは先生方がきめ細かくチェックしています。

今年度の学力調査の結果は、3教科共に全国平均と変わらない結果が得られました。学力調査は3年生だけの結果ですし、学力をこの数字だけで評価してはいけませんが、日頃の授業、また、「自学ノート」の取組などが、このような結果につながっているのは間違いないように感じています。子どもたちにしっかりとした学力をつけることは、将来の可能性の広がりにつながります。

また、今回の質問紙調査の中で、「困っているときは、助けていますか」という質問に対し、肯定的な回答を全員がしています。子どもたちの優しさが数字として出た結果だと感じています。有中の生徒は本当に素敵な子ばかりです。

今回の結果を皆さんと共有し、今後の子どもの豊かな成長につなげていきたいと思っています。引き続きよろしくお願いいたします。